

2026 年 9 月 吉日

株式会社シード・プランニング

**【9/15 開催】医療福祉情報連携 社会実装推進協議会、
第 1 回キックオフシンポジウムを開催
健康・医療・福祉情報連携システムの社会実装を議論**

～健康・医療・福祉情報の社会実装を推進するために必要なポイントとは～



**健康・医療・福祉情報連携システムの
社会実装による地域包括ケアの充実化**

～健康・医療・福祉情報の社会実装を推進するために必要なポイントとは～

2026 9/15 火

事前登録制

15:30～18:15 (18:15～19:00懇親会)
会場+オンライン (ハイブリッド開催)

場所

株式会社シード・プランニング
東京都文京区湯島3-19-11 湯島ファーストビル1階 シードライブラリー

株式会社シード・プランニング（本社：東京都文京区、代表取締役社長：梅田 佳夫）が事務局を務める「医療福祉情報連携 社会実装推進協議会」が社会実装推進キックオフシンポジウム【健康・医療・福祉情報連携システムの社会実装による地域包括ケアの充実化 ～健康・医療・福祉情報の社会実装を推進するために必要なポイントとは～】を 2026 年 9 月 15 日（火）に開催します。

同協議会は健康・医療・福祉情報連携システムを地域の現場に定着させ、地域医療や介護・福祉に関わる多様な主体の連携を深めることで、地域包括ケアの充実につなげることを目指しております。

シンポジウムでは、厚生労働省、大学、企業の第一線で活躍する講師が登壇し、全国医療情報プラットフォームをはじめとする医療 DX の最新動向、85 歳以上人口の急増に伴う地域ニーズの変化、AI を活用した地域共創などを取り上げ、健康・医療・福祉情報連携システムの社会実装に向けた課題や展望を考えます。

●お申込みはこちら（参加費：会員無料／非会員 5000 円）

<https://forms.gle/Et25xQjqFK64M2cA6>

◆医療福祉情報連携 社会実装推進協議会 シンポジウム開催の背景

医療 DX や全国医療情報プラットフォームの整備が進む一方、地域には、健康・医療・福祉の現場や行政、健康づくり、生活支援などを通じて、地域の実情を映す多様な情報が蓄積されています。これから問われるのは、国のプラットフォームの情報に加えて、こうした地域のさまざまなデータを活用し、地域課題の解決や支援の質の向上にどう結び付けていくかです。

地域包括ケアは、その理念や必要性が広く共有されてきました。一方で、地域によって課題や保有する資源が異なるなか、具体的な仕組みとして十分に実装されているとはいえません。地域の課題と資源を医療情報に基づいて把握し、必要な支援や連携を設計するとともに、その成果を評価・改善していくことが求められています。

こうした環境変化を踏まえ、「地域医療福祉情報連携協議会」は、これまで培ってきた地域医療連携の知見とネットワークを継承・発展させ、新たに「医療福祉情報連携 社会実装推進協議会（仮称）」として再編します。

目指すのは、情報連携の仕組みをつくることや、医療情報を活用すること自体ではありません。地域の多様な医療情報に基づいて課題と資源を捉え、健康・医療・福祉をはじめとする地域の関係者が連携し、地域包括ケアを課題解決につながる実効性のある仕組みとして社会実装することです。医療情報は、そのための重要な手段となります。名称変更は、協議会が目指す役割をあらためて明確にするための第一歩です。

◆医療福祉情報連携 社会実装推進協議会 シンポジウムのみどころ

新たな活動のキックオフとなる本シンポジウムでは、厚生労働省、大学、企業の第一線で活躍する講師を迎え、国の医療 DX 政策、これからの地域包括ケア、地域における医療情報活用などの視点から、地域包括ケアを実効性のある仕組みとして社会実装するための道筋を考えます。さらに、パネルディスカッションを通じて、地域課題の解決に向けて、それぞれの主体に期待される役割や連携のあり方を掘り下げます。

- 国の医療 DX と全国医療情報プラットフォームの整備が、地域包括ケアの実践にどのような可能性をもたらすのか
- 経済格差や生活支援も含め、地域の実情に即した地域包括ケアをどのように構想するか
- 地域の多様な医療情報を活用し、地域包括ケアを持続可能で実効性のある仕組みとして社会実装するために、何が必要か

すでに地域連携に取り組んでいる方はもちろん、医療情報活用や地域包括ケアの具体化に課題を感じている方、今後の事業や研究の方向性を考えたい方にも、新たな視点と接点を持ち帰っていただける機会です。立場や領域を越えて、ともに次の一步を考える場として、ぜひご参加ください。

◆医療福祉情報連携 社会実装推進協議会 シンポジウム開催概要

テーマ	健康・医療・福祉情報連携システムの社会実装による地域包括ケアの充実化 ～健康・医療・福祉情報の社会実装を推進するために必要なポイントとは～
開催日時	2026 年 9 月 15 日（火）15:30～18:15（18:15～19:00 懇親会）
開催形式	ハイブリッド開催（現地＋オンライン）
現地会場	株式会社シード・プランニング 本社 1 階 シードライブラリー 東京都文京区湯島 3-19-11 湯島ファーストビル
オンライン	ZOOM ウェビナー（同時配信）
参加費	無料（会員）／5,000 円（非会員）
お申し込み	以下の申込フォームより事前登録が必要です。 https://forms.gle/Et25xQjqFK64M2cA6
お申込期限	2026 年 9 月 15 日（火）まで受付
イベント詳細	https://rhw.jp/site/infomation/2026/3605/
主催／事務局	株式会社シード・プランニング
主な対象	医療 DX 関連の事業や研究に携わる方、健康・医療・福祉分野の情報活用に関わる方、地域包括ケアの今後に関心をお持ちの方

◆医療福祉情報連携 社会実装推進協議会 シンポジウムプログラム

◆開会挨拶（15:30～15:40）

松村 泰志 先生（医療福祉情報連携 社会実装推進協議会 会長／独立行政法人国立病院機構大阪医療センター院長）

◆基調講演①（15:40～16:25）

「医療 DX の推進に向けた国の取組 ―全国医療情報プラットフォームが拓く次世代の医療情報活用―」
木下 栄作 氏（厚生労働省政策統括官付参事官（医療情報連携担当））

◆基調講演②（16:25～17:10）

「85 歳以上人口急増に伴うニーズ変容に備える新たな地域包括ケアとは」
田中 滋 先生（埼玉県立大学理事長・慶應義塾大学名誉教授）

◆企業講演（17:10～17:40）

「地域包括ケアから地域包括ライフケアへ-AI 時代の地域共創モデルとは-」
荒木 達樹 氏（富士通株式会社 CEO 室次世代ヘルスケア事業担当 Executive Director）

◆パネルディスカッション（17:50～18:05）

テーマ：地域包括ケアを充実させるために、健康・医療・福祉情報連携システムをどのように社会実装していけば良いのか

モデレーター：松村 泰志 先生

パネリスト：木下 栄作 氏、田中 滋 先生、荒木 達樹 氏、水野 正明 先生（名古屋大学大学院医学系研究科附属 健康医療ライフデザイン統合研究教育センター）

◆閉会挨拶（18:05～18:15）

水野 正明 先生（医療福祉情報連携社会実装推進協議会 副会長／名古屋大学大学院医学系研究科附属健康医療ライフデザイン統合研究教育センター）

◆懇親会（18:15～19:00）

◆医療福祉情報連携 社会実装推進協議会 シンポジウムご登壇者

■座長：

国立病院機構大阪医療センター院長
松村 泰志 先生

■講師：

厚生労働省政策統括官付参事官（医療情報連携担当） 木下 栄作 氏
埼玉県立大学理事長・慶應義塾大学名誉教授 田中 滋 先生
富士通株式会社 CEO 室次世代ヘルスケア事業担当 Executive Director 荒木 達樹 氏
名古屋大学大学院医学系研究科附属健康医療ライフデザイン統合研究教育センター 水野 正明 先生

本件に関するお問い合わせ

【地域医療福祉情報連携協議会 事務局（株式会社シード・
プランニング）高橋・畑仲】

info@hwiic.jp